

城の石垣

泉鏡太郎

青空文庫

おなじことを、東京では世界一、地方では日本一と誇る。相州小田原の町に電車鐵道待合の、茶店の亭主が言に因れば、土地の鹽辛、蒲鉾、外郎、及び萬年町の竹屋の藤、金格子の東海樓、料理店の天利、城の石垣、及び外廓の梅林は、凡そ日本一也。

莞爾として聞きながら、よし／＼其もよし、蒲鉾は旅店の口取でお知己、烏賊の鹽辛は節季をかけて漬物屋のびらで知る通、外郎は小本、物語で懇意なるべし。竹屋の藤は時節にあらず、金格子の東海樓は通つた道の青樓さの、處で今日の腹工合と、懐中の都合に因つて、天利といふので午餉にしよう、其づ其の城を見て梅とやれ、荅は未だ固くツてもお天氣は此の通り、又此の小田原と來た日には、暖いこと日本一だ、喃、御亭主。然やうでござります。喜多八、さあ、其の氣で歩ぼつしと、今こそ着流で駒下駄なれ、以前は、つかさやをかけたお太刀一本一寸極め、振分の荷物、割合羽、函嶺の夜路をした、内神田の叔父的、名を彌次郎兵衛といふ小田原通、アイお茶代を置いたよ、とツイと出るのに、旅は早立とあつて午前六時に揺りおこされた眠い目でついて行く。

驛路の馬の鈴の音、しやんと來る道筋ながら、時世といひ、大晦日、道中寂りと
 して、兩側に廂を並ぶる商賈の家、薪を揃へて根占にしたる、門松を早や建て連
 ねて、歳の神を送るといふ、お祭の太鼓どんく。ちゆうひやらくくと角兵衛獅子、
 暢氣に懐手で町内を囃して通る。

この町出外れに、森見えてお城の大手。

しばしイむ。

此處へ筒袖の片手ゆつたりと懐に、左手に山牛蒡を提げて、頬被したる六十ば

かりの親仁、ぶらりと來懸るに路を問ふことよろしくあり。お節にや拵ふるに、このあた

り門を流るゝ小川に浸して、老若男女打交り、手に手に之を洗ふを見た。後に小田

原の町を放れ、函嶺の湯本近に一軒、茶店の娘、窶れ姿のいと美しきが、路傍の笕

前なる山凡そ三四百間遠き處に千歳久しき靈水を引いたりといふ、清らかなる樋

の口に冷たき其の土を洗ふを見て、山の芋は鰻になる、此の牛蒡恠くて石清水に身を灌

がば、あはれ白魚に化しやせんと、そゞる胸に手を置きしが。

扱て路を教へて後、件の親仁つく／＼と二人を見送る。いづれ美人には縁なき衆

生、其も嬉しく、外廓を右に、やがて小さき鳥居を潜れば、二の丸の石垣、急に

高く、目の下忽ち濠深く、水はやゝ涸れたりと雖も、枯蘆萱の類、細路をかけて、霜
 を鏝ひ、ぎつくと立つ。思はず行き悩み立つて仰げば、虚空に雲のかゝれるばかり、參差
 たる樹の間々々《く》、風さへ渡る松の梢に、組連ねたるお城の壁の苔蒸す石の一個
 々々。勇將猛士幾千の髭ある面を列ねし如き、さても石垣の倅かな。
 それより無言にて半町ばかり、たらくと坂を上る。こゝに晝も暗き樹立の中に、
 ソと人の氣勢するを垣間見れば、石の鳥居に階子かけて、輪飾掛くる少き一人、落葉搔
 く翁二人あり。宮は、報徳神社といふ、彼の二宮尊徳翁を祭れるもの、石段の
 南北に畏くも、宮様御手植の對の榊、四邊に塵も留めず、高きあたり靜に鳥の聲鳴
 きかはす。此の社に詣でて云々。これより一説ある處、何の大晦日を逃げた癖に、
 尊徳様もないものだど、編輯の同人手を拍つて大に嘲けるに、たじくとなり、敢
 て我胸中に蓄へたる富國經濟の道を説かず、纔に城の倅を記すのみ。

明治三十五年二月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十七」岩波書店

1942（昭和17）年10月20日第1刷発行

1988（昭和63）年11月2日第3刷発行

初出：「新小説 第七年第二巻」春陽堂

1902（明治35）年2月1日

※表題は底本では、「城《しろ》の石垣《いしがき》」となっています。

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

入力：門田裕志

校正：岡村和彦

2017年8月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

城の石垣

泉鏡太郎

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>